

# 平成29年度 長野県医学生修学資金貸与者 「地域医療の現場研修会」

開催年月日	平成29年8月25日(金)
開催病院	岡谷市民病院
	病院長 天野 直二
	岡谷市本町4-11-33

平成29年度 長野県医学生修学資金貸与者  
「地域医療の現場研修」プログラム

長野県 健康福祉部 医療推進課 医師確保対策室  
信州医師確保総合支援センター信州大学医学部分室 委託事業

開催日：平成29年8月25日（金） 13:30～17:00

会 場：岡谷市民病院

【プログラム】

司会進行：小松課長

1. 開会（13:30～13:35）

開会あいさつ（川嶋副院長）

スケジュール説明（小松課長）

2. 講話①（13:35～14:10）

「岡谷市民病院の概要」

「医師を目指す君たちへ ～医学生に望むこと～」

講師：岡谷市民病院 病院長 天野直二

3. 体験・施設見学（14:10～16:10）

「腹腔鏡手術体験」 指導：岡谷市民病院 外科医師（三輪部長他）

「縫合体験」 指導：岡谷市民病院 外科医師（三輪部長他）

「内視鏡体験」 指導：岡谷市民病院 消化器内科医師（川嶋副院長）

「麻酔体験」 指導：岡谷市民病院 麻酔科医師（清水医師）

「施設見学」 説明者：庶務課職員

4. 講話②（16:20～16:50）

「医師を目指す君たちへ ～先輩からのメッセージ～」

講師：岡谷市民病院 外科医師 島田奈緒

岡谷市民病院 内分泌・代謝科医師 倉石貴文

岡谷市民病院 初期研修医 森谷勇介

5. 閉会（16:50～16:55）

閉会あいさつ（事務部長）

6. 交流会（18:00～19:30）

場所：ライフプラザ マリオ

出発時間：17時30分

病院長・副院長・若手医師、医学生等との交流会

# 平成29年度長野県医学生修学資金貸与者「地域医療の現場研修」 研修会会場

## 【正面入口】



## 【1階】



## 【3階】



# 平成29年度長野県医学生修学資金貸与者「地域医療の現場研修」

## 体験・見学スケジュール

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
14:20				
14:30	縫合体験 (実習スペース①)	麻酔体験 (3F手術室)	内視鏡体験 (実習スペース③)	施設見学
14:40				
14:50	腹腔鏡手術体験 (実習スペース②)	縫合体験 (実習スペース①)	施設見学	内視鏡体験 (実習スペース③)
15:00				
15:10	麻酔体験 (3F手術室)	腹腔鏡手術体験 (実習スペース②)		
15:20				
15:30	内視鏡体験 (実習スペース③)	施設見学	縫合体験 (実習スペース①)	麻酔体験 (3F手術室)
15:40				
15:50			腹腔鏡手術体験 (実習スペース②)	縫合体験 (実習スペース①)
16:00	施設見学	内視鏡体験 (実習スペース③)		
16:10			麻酔体験 (3F手術室)	腹腔鏡手術体験 (実習スペース②)
16:20				



# 岡谷市民病院 概要



# I 病院概要

## II 基本理念・基本方針

## III 中・長期計画

# I 病院概要

## 1 諏訪保健医療圏について



# I 病院概要

## 2 施設概要

病床数	295床	総敷地面積	28,078m <sup>2</sup>
駐車場	550台	延床面積	24,158m <sup>2</sup>
職員数	常勤 425名(医師 41名、看護師等 384名)、非常勤 183名 平成29年4月1日現在		

□地上6階 地下2階

1～2階 外来 3階 手術室、ICU・CCU

4～6階 病棟

### ◆災害に強い病院

屋内:免震構造

屋外:太陽光発電、災害用マンホールトイレ  
防災対応離着陸機能

### ◆環境に配慮した病院

地中熱冷暖房システム、エコボイド、クールピット





# I 病院概要

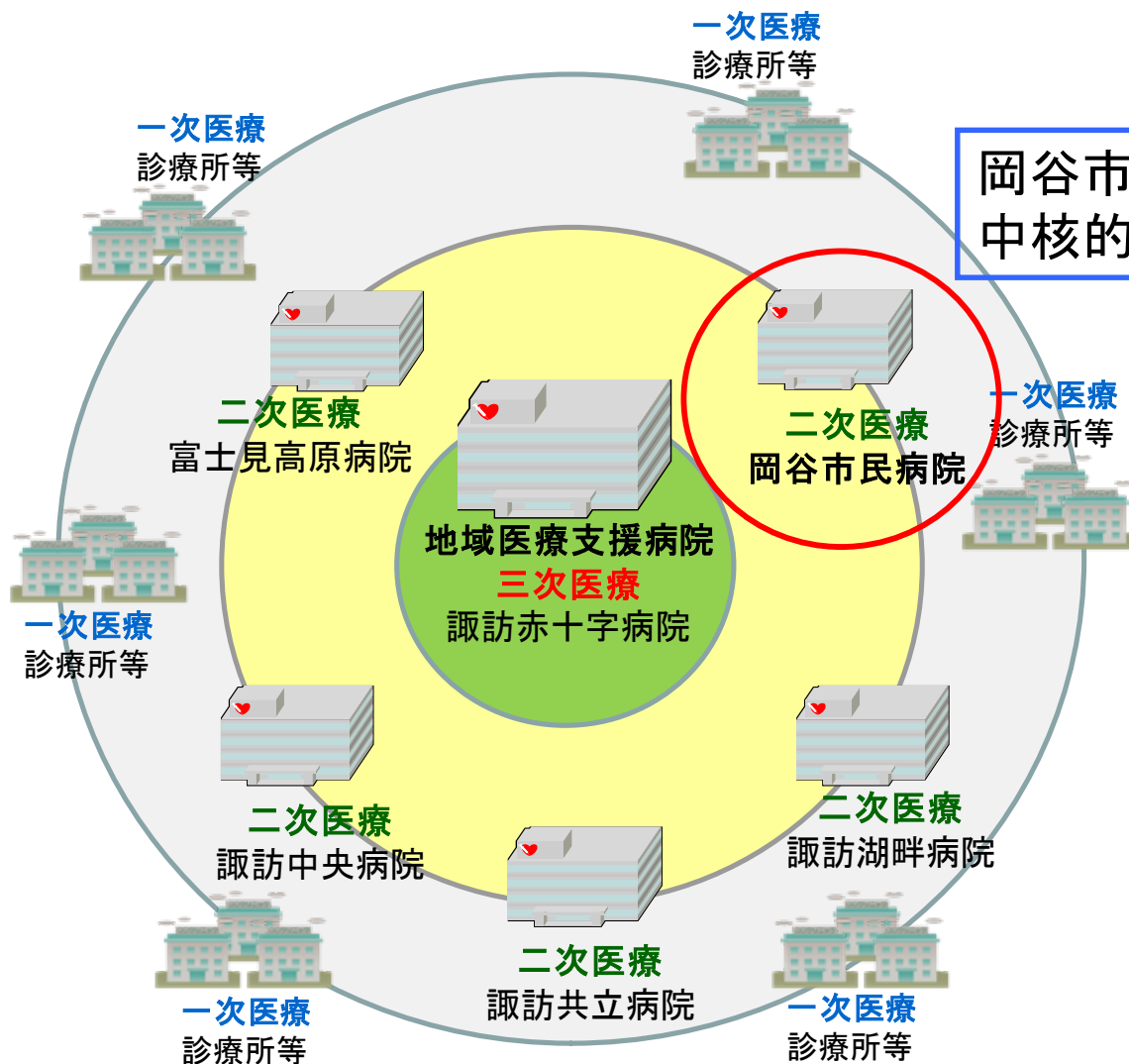
## 3 沿革

	市立岡谷病院	健康保険岡谷塩嶺病院
明治43年(1910年)	組合立平野製糸共同病院を開設	
昭和12年(1937年)	岡谷市に移管され、市立岡谷病院と改称	
昭和20年(1945年)	岡谷日本大学病院と改称	
昭和22年(1947年)	再び市立岡谷病院と改称	
昭和28年(1953年)		健康保険岡谷塩嶺療養所として開設
昭和29年(1954年)		健康保険岡谷塩嶺病院と改称
平成16年(2004年)	「病院機能評価Ver.4」認可	
平成18年(2006年)	地方公営企業法の全部適用病院(両病院経営統合)	
平成22年(2010年)	市立岡谷病院と健康保険岡谷塩嶺病院の施設集約(主な機能を市立岡谷病院へ)	
平成23年(2011年)	新病院建設基本構想策定	「病院機能評価Ver.6」認可
平成25年(2013年)	新病院建設工事に着手	

	岡谷市民病院
平成27年(2015年)	新病院竣工(8月10日) 「岡谷市民病院」開院(10月11日に、両病院が完全統合)
平成28年(2016年)	駐車場整備ほか外構工事完成(11月)

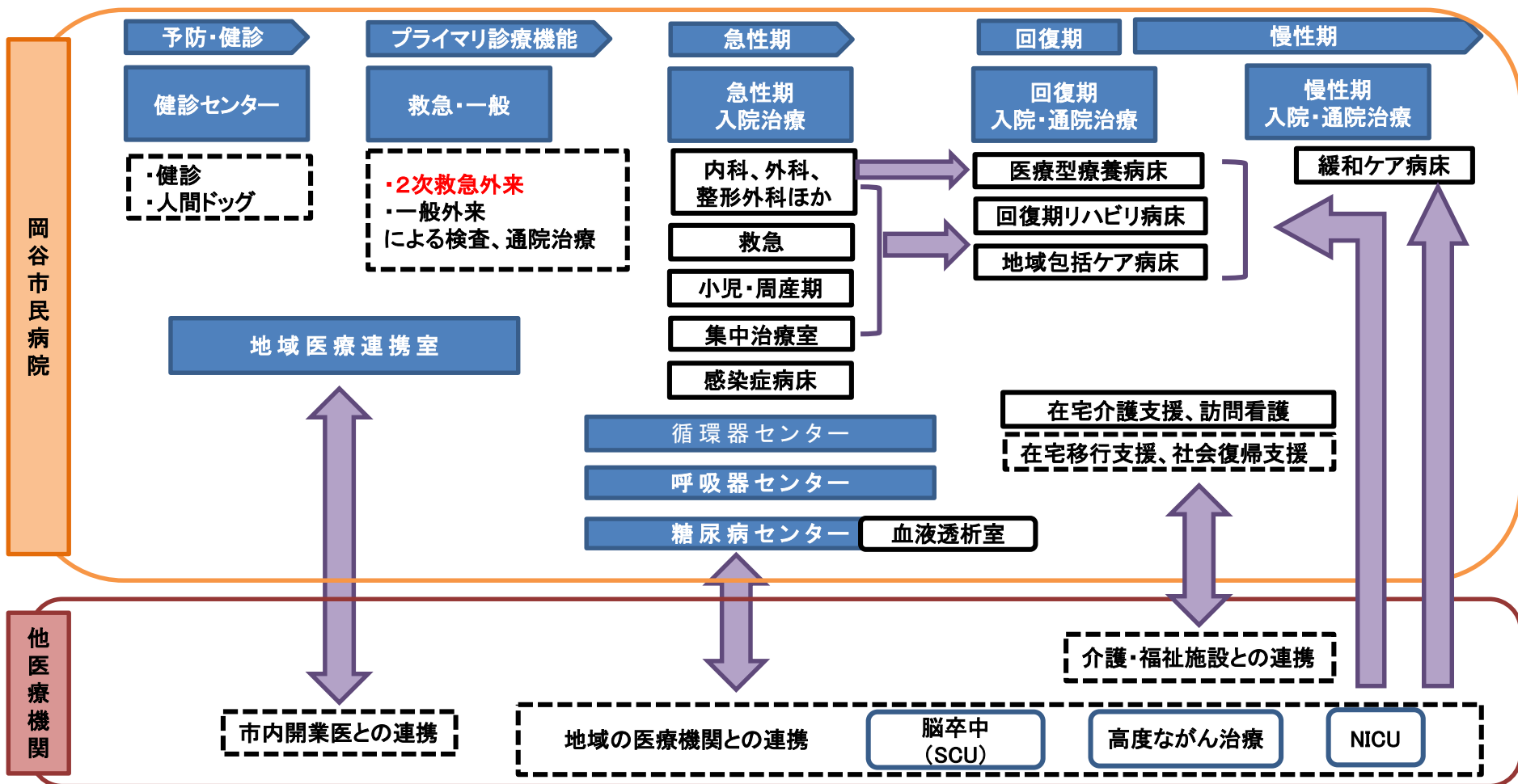
# I 病院概要

## 4 諏訪医療圏における位置付け



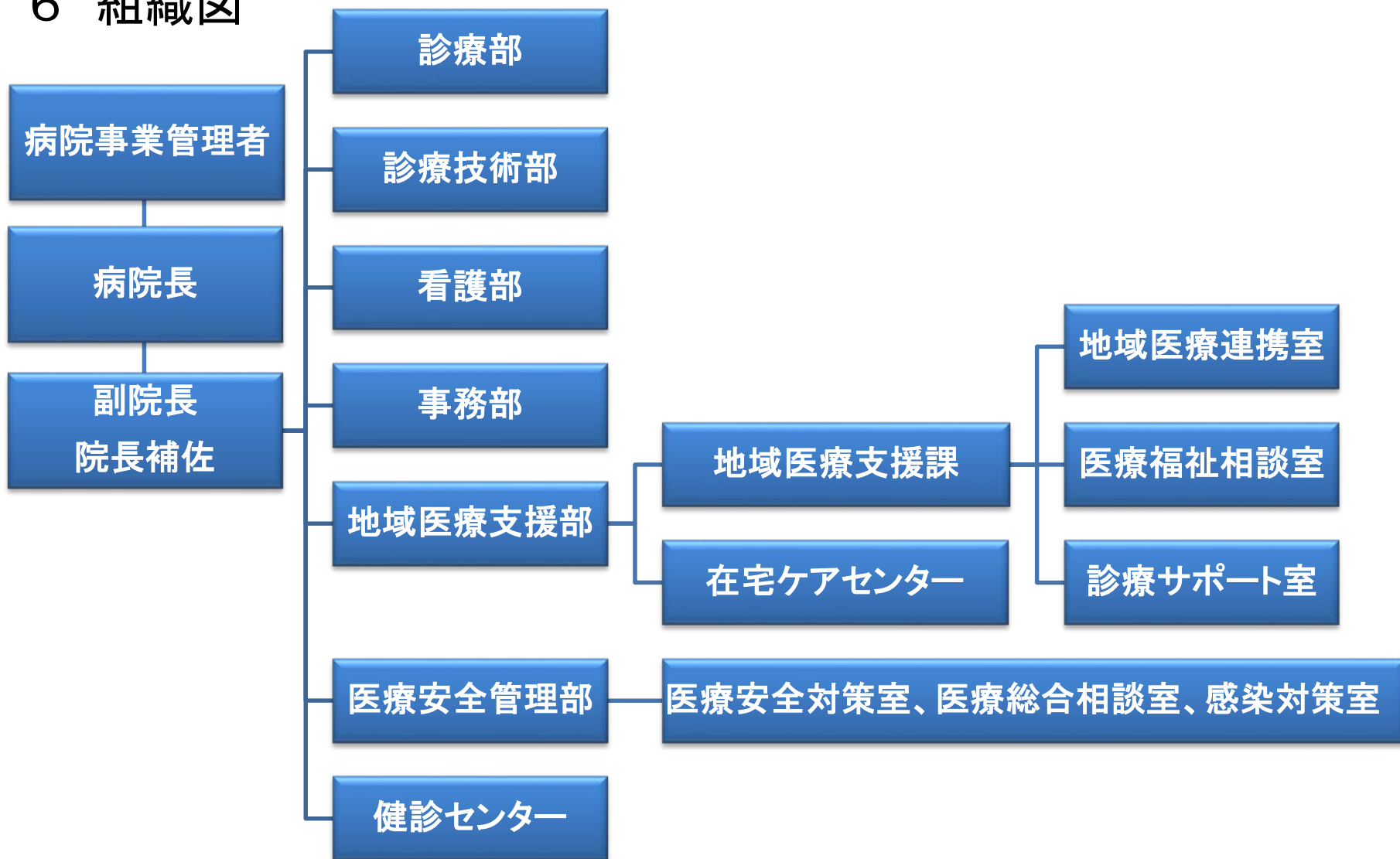
# I 病院概要

## 5 病院の機能



# I 病院概要

## 6 組織図





# I 病院概要

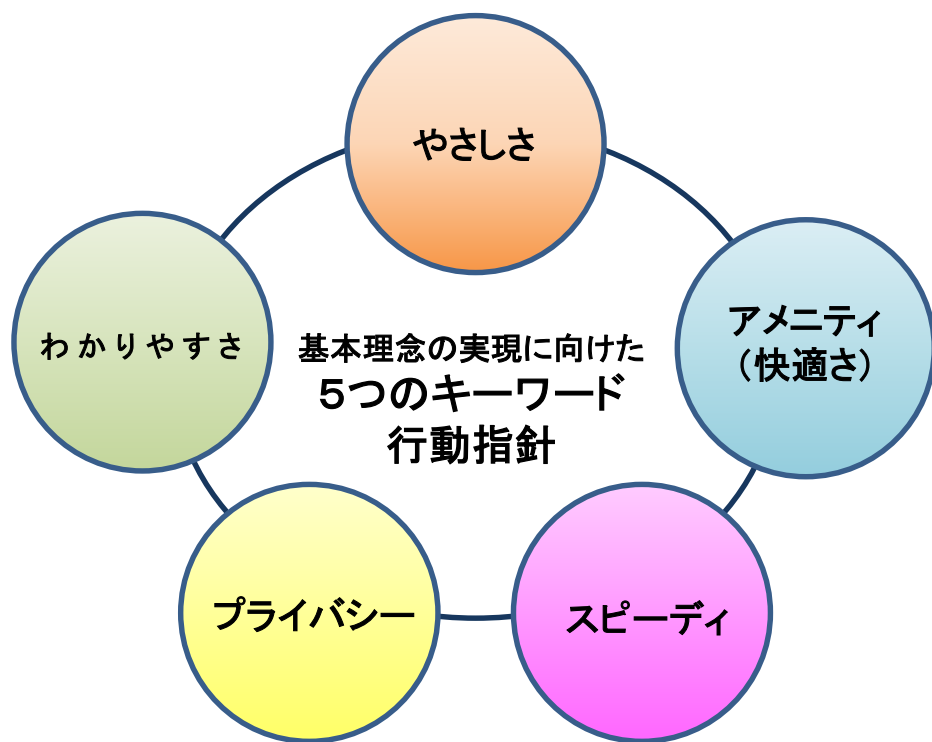
## II 基本理念・基本方針

## III 中・長期計画

# 基本理念

思いやり

岡谷市民病院は、「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院を目指します。



## 岡谷市民病院 基本理念

思いやり

岡谷市民病院は、「思いやり」を基本理念とし、心温まる患者サービスを提供し、地域の人々に信頼され親しまれる病院をめざします。

基本理念の実現に向けた  
5つのキーワード  
行動指針

- やさしさ**  
医師は、常に人と人とのふれあいの場です。一人ひとりの患者さん、ご家族の皆さんに思いやりの心を持って接します。
- アメニティ (快適さ)**  
患者さんが快適な入院生活を送れるよう、清潔で静かな環境を提供します。
- スピーディ**  
来院から退院に至るまで、院内各部門との相互協力により迅速な対応に努めます。
- プライバシー**  
患者さんの立場をよく理解し、プライバシーに配慮した接し方、説明をします。
- わかりやすさ**  
患者さんの個性を尊重し、わかりやすい説明をします。

### 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と尊厳、また、ご家族の意思を尊重する医療を実践し、安心と満足を提供します。
- 2 私たちは、患者さんにわかりやすいことばで説明し、同意を得たうえで適切な医療を提供します。
- 3 私たちは、医療倫理を守り真摯な態度で医療制度に即した医療を提供し、信頼される病院をめざします。
- 4 私たちは、研究・教育・研修により医療技術の研鑽に励み、高度で自覚的な医療を提供し、地域住民の健康を守ります。
- 5 私たちは、地域の医療機関と連携を回り、地域医療水準の向上に努めます。
- 6 私たちは、病院経営の健全化に努め、働きがいのある病院環境を築いていきます。

# 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と尊厳、また、ご家族の意思を尊重する医療を実践し、安心と満足を提供します。
- 2 私たちは、患者さんにわかりやすいことばで説明し、同意を得たうえで適切な医療を提供します。
- 3 私たちは、医療倫理を守り真摯な態度で医療制度に即した医療を提供し、信頼される病院をめざします。
- 4 私たちは、研究・教育・研修により医療技術の研鑽に励み、高度で良質な医療を提供し、地域住民の健康を守ります。
- 5 私たちは、地域の医療機関と連携を図り、地域医療水準の向上に努めます。
- 6 私たちは、病院経営の健全化に努め、働きがいのある病院環境を築いていきます。



# I 病院概要

## II 基本理念・基本方針

## III 中・長期計画



### Ⅲ 中・長期計画

#### 1 岡谷市民病院目標

##### 「岡谷市民病院の使命（ミッション）」

地域の総合病院として、急性期から慢性期までの幅広い診療機能等を維持し、高度で総合的な医療を提供することにより、市民の生命と健康を守る。

（岡谷市第4次総合計画、岡谷市新病院基本構想より要約）

##### 「岡谷市民病院が目指す姿（ビジョン）」

新病院として整備された病院施設を最大限活用し、高度で良質な医療を安定して提供できる体制を整備することにより、新病院に対する市民の期待に応え、信頼され親しまれる病院を目指す。

（岡谷市第4次総合計画、岡谷市新病院基本構想より要約）

### Ⅲ 中・長期計画

## 2 中期的戦略

(1) 地域医療の推進

(2) 人材確保と人材育成

(3) 健全経営の確保

## 2 中期的戦略

### (1) 地域医療の推進

- |                   |
|-------------------|
| ① 一般急性期病床(7対1)の維持 |
| ② 回復期リハビリテーションの充実 |
| ③ 救急体制の整備と充実      |
| ④ 予約センター(仮称)の開設   |
| ⑤ 地域医療支援部の機能強化    |
| ⑥ 総合診療の強化         |

## 2 中期的戦略

### (2) 人材確保と人材育成

- ① 教育・研修の積極的な展開
- ② 研修センター(仮称)の開設
- ③ 若手医療人の確保
- ④ 医師確保

### (3) 健全経営の確保

- ① 一般急性期病床(7対1)の維持
- ② 適切な人員配置及び効果的運用



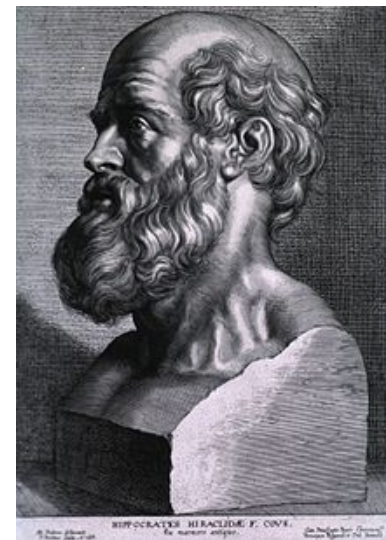
# 医師を目指す君たちへ

## ～医学生に望むこと～



**ヒポクラテス**（古代ギリシア語: Ἱπποκράτης、  
英語: Hippocrates , 紀元前460年ごろ - 紀元前370年ごろ）

- ヒポクラテスの功績は古代ローマの医学者ガレノスを経て後の西洋医学に大きな影響を与えたことから、「医学の父」、「医聖」、「疫学の祖」などと呼ばれる。
- 医学を原始的な迷信や呪術から切り離し、臨床と観察を重んじる経験科学へと発展させた。
- 四体液説の提唱（病気は4種類の体液の混合に変調が生じた時に起こる）
- 医師の倫理性と客観性について『誓い』と題した文章が全集に収められ、現在でも『ヒポクラテスの誓い』として受け継がれている。
- **人生は短く、術のみちは長い** "ὁ βίος βραχύς, ἡ δὲ τέχνη μακρά" と言う有名な言葉もヒポクラテスのものとされており、これは「ars longa, vita brevis アルスロンガ、ウィータブレウイス」というラテン語表現で現代でも広く知られている。
- 人間の置かれた環境（自然環境、政治的環境）が健康に及ぼす影響についても先駆的な著作を残した。



コス島のヒポクラテス  
Ἱπποκράτης



十字の形で記された12世紀  
東ローマ帝国の写本



後に**ピネル**らの“**道徳療法**”に影響を与える

## ヒポクラテスの誓い

医の神アポロン、アスクレーピオス、ヒギエイア、パナケイア、及び全ての神々よ。私自身の能力と判断に従って、この誓約を守ることを誓う。

- \* この医術を教えてくれた師を実の親のように敬い、自らの財産を分け与えて、必要ある時には助ける。
  - \* 師の子孫を自身の兄弟のように見て、彼らが学ばんとすれば報酬なしにこの術を教える。
  - \* 著作や講義その他あらゆる方法で、医術の知識を師や自らの息子、また、医の規則に則って誓約で結ばれている弟子達に分ち与え、それ以外の誰にも与えない。
  - \* 自身の能力と判断に従って、患者に利すると思う治療法を選択し、害と知る治療法を決して選択しない。
  - \* 依頼されても人を殺す薬を与えない。
  - \* 同様に婦人を流産させる道具を与えない。
  - \* 生涯を純粋と神聖を貫き、医術を行う。
  - \* どんな家を訪れる時もその自由人と奴隷の相違を問わず、不正を犯すことなく、医術を行う。
  - \* 医に関するか否かに関わらず、他人の生活についての秘密を遵守する。
- この誓いを守り続ける限り、私は人生と医術とを享受し、全ての人から尊敬されるであろう！
- しかし、万が一、この誓いを破る時、私はその反対の運命を賜るだろう。

医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。



## 初期臨床研修必修化後世代

### ◆Under35

#### 【医師像】

- 人それぞれに価値感.
- 専門性の追求、ワークライフバランス重視など、志向も多様.

#### 【キャリア観】

- 進路を主体的に選択する「デザイン」重視.
- 専門医資格、学位、経験症例数など、明確な方向性を持つ.

#### 【卒後の進路】

- 情報が多く、選択肢は膨大.
- SNSの普及により、選ばなかった進路が見え、後悔する機会が多い.

#### 【キャリアの節目】

- 初期研修、後期研修、後期研修後と早いうちから少なくとも3回.

## 指導医世代 ◆Over35

#### 【医師像】

- 医師は「聖職」.
- 一生を懸ける価値がある職業だと考えている.

#### 【キャリア観】

- 言われるがままやってみる「漂流(ドリフト)」思考.
- 医局人事に従う。石の上にも3年.

#### 【卒後の進路】

- 選択肢は出身大か地元のほぼ2択.
- 卒前、卒後とも進路に関する情報は直接見聞きできる範囲内.

#### 【キャリアの節目】

- 少ない場合は卒後1回のみ.

# 地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される 地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する 町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。  
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要**です。

## 地域包括ケアシステムの姿

